

第2回 奈良市西部生涯スポーツセンター屋内温水プール等18体育施設に係る
奈良市指定管理者選定委員会会議録

開催日時	令和5年11月17日（金曜日） 午後1時30分から午後2時30分まで	
開催場所	奈良市役所 北棟4階 第402会議室	
議題	1. 書類審査（奈良市西部生涯スポーツセンター屋内温水プール等18体育施設） 2. 審議 3. 候補者選定	
出席者	委員	馬場委員長、高橋委員、星野委員、中川委員、池田委員
	事務局	北出スポーツ振興課長 脇田課長補佐 宮崎係長 西村 金山
	申請団体	一般財団法人奈良市総合財団
開催形態	公開（傍聴人2人）	
決定事項	一般財団法人奈良市総合財団を、奈良市西部生涯スポーツセンター屋内温水プール等18体育施設の指定管理者の候補者として選定した。	
担当課	市民部 スポーツ振興課	
添付資料	採点集計表	

議事の内容

1. 奈良市西部生涯スポーツセンター屋内温水プール等18体育施設の指定管理者選定に係る書類審査

■ 奈良市指定管理者選定委員会規則第5条に基づき、申請団体である一般財団法人奈良市総合財団の職員に本委員会への出席を求めた。

■ 委員による意見及び質問

（委員）申請書のテニスコートの写真には老朽化や経年劣化が見うけられる部分があるが、現状はどうなっているか。

（申請団体）老朽化や経年劣化は見られる。また、一部のテニスコートでは木の根が浮き出ているといった破損等が起きている部分もあるが、使用停止にする程度ではないので利用はしていただいている。

（委員）施設の整備を行わずにいると非常に危険である。部分修繕等の対応策を具体的にして予算案に加えるなどして欲しい。

（委員）施設の稼働率はどのように算出しているのか。

（申請団体）時間単位ではなく、午前と午後の半日単位で稼働率の算出をしている。体育館は、さらに夜間の区分を加えて算出を行っている。

（委員）新規の自主事業案として民間企業とのコラボレーション企画が例として挙げているが、具体的にどのような企画を考えているのか。

（申請団体）令和5年度は、ミズノ株式会社とタイアップして体組成測定会を実施した。来年度も様々な民間企業と協議しながら企画を行っていきたい。

（委員）同じく新規の事業案にeスポーツを挙げているが、どのような企画を考えているのか。

（申請団体）チームや個人で対戦するオンラインゲームのようなものを想定している。eスポーツは認知症予防の効果が期待できるため、今後企画に向けて取り組んでいきたい。

（委員）事業計画書で令和6年度配置予定人数は合計19名と記載されているが、臨時職員は含まれているのか。

（申請団体）19名の中に臨時職員は含まれている。

(委員) 職員19名の具体的な割り当てはどのようなになっているのか。

(申請団体) 西部生涯スポーツセンターの業務は体育館業務、プール業務、整備業務の3つに分け、それに職員16名を割り当てている。残りの3名は、他の管理事務所に1名ずつ割り当てている。

(委員) 予算書の人件費と事業計画書の職員数はどう対応しているのか。

(申請団体) 職員15名と嘱託職員1名は人件費から、プール監視や受付等の臨時職員は臨時雇賃金から支払いをしている。

(委員) 施設の定休日は週に1日なので業務日数は6日ある。常駐職員が1名の施設の職員が定休日以外で休みを取っている場合はどうしているのか。

(申請団体) 他の施設を担当する職員が交替で業務を行う。

(委員) 事業計画書に記載されている「協力ネットワーク」とは何を指しているのか。

(申請団体) 奈良市総合財団全体での協力体制のことを「協力ネットワーク」と表現している。

(委員) 配置される職員が1人の施設において、十分な安全管理や施設維持管理はできるのか。

(申請団体) 常駐の職員1人とは別に修理や清掃を行う整備班があり、各施設を回っている。

(委員) 施設内で利用者による事故が起こった際の対応はどうしているのか。

(申請団体) 受付に連絡してもらい、常駐の職員が現場に向かうことになっている。また、常駐の職員がいない施設であれば別の施設にいる職員が駆けつけて対応する。

2. 審議

採点集計の結果を基に審議を行い、申請団体が選定の基準を全て満たしていることを確認した。

3. 候補者選定

一般財団法人奈良市総合財団を、奈良市西部生涯スポーツセンター屋内温水プール等18体育施設の指定管理者の候補者として選定した。